

部活動 「手話部」

横浜市立岡野中学校



活動目標

- 手話が言語であることを、活動を通して学び、手話を広める活動を行う。
- 聴覚障がいの方々とのふれあいを通して、会話ができたことの喜びを体験し、将来にわたって手話ができるよう活動している。

(1) 実施時期 通年
活動日は週2回

(2) 対象(学年等・人数)
第1学年 12名 第2学年 7名 第3学年 3名

(3) 指導者(教諭・外部講師等)
本校教諭：2名 外部講師との連絡調整
外部講師：市内ボランティア2名 地域ケアプラザ3名
社会福祉協議会3名 区役所職員



(4) 実施内容

- ◎ 日常活動：「手話」(実践練習)
 - ・手話ボランティアの方からの指導。
- ◎ 手話体験：手話学習と実践
 - ・ボランティア若干名(外部人材の活用という観点で依頼している)
 - ・手話に関する基本的知識の習得
 - ・日常的な会話の実践
 - ・指文字による五十音の表し方
 - ・流行の歌を手話で歌う手話実践
- ◎ 地域行事や街頭キャンペーンなどに参加し、手話を広める活動を展開。

(5) 成果

- 手話を活用できることで、聴覚障がい者とのコミュニケーションができるようになり、聴覚障がいへの理解をさらに深めることができた。
- 手話で歌詞を表現できることで新たな人との繋がりができるようになった。
- 学校での「福祉体験活動」の時間では手話の講師役が務められるようになった
- 地域ケアプラザや社会福祉協議会主催のボランティアに参加する生徒が増えた。

(6) その他

いろいろな立場やハンディキャップをもった人々とのふれあいから、違いを理解し合って関わることの大切さ、安心感、自己有用感を高める活動実践ができています。